

「ぼうさいこくたい」地区防災計画セッション

「札幌時計台ビル」 地区防災計画策定まで



2021年11月6日

目 次

1. 札幌時計台ビルの紹介
2. 地区防災計画に取り組んだきっかけ
3. ワークショップを重ね
4. 災害の実体験
5. 計画の完成
6. 取組の効果
7. 作成の支援について

最後に

1. 札幌時計台ビルを紹介



所在地

札幌市中央区北1条西2丁目1番地

竣工年

1982年（昭和57年）

規模

地下2階、地上14階

テナント数 64社

在館人数 約1,400人（2021年3月現在）

FMラジオ放送局
や飲食店、
保育園が入居す
るテナントビル



2. 地区防災計画に取り組んだきっかけ

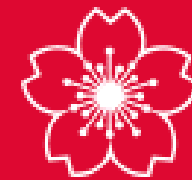
ビルオーナー
管理会社

テナント事業者の
魅力増進につながる
企業連携型の地区防災計画

FM ラジオ
放送局
(入居テナント)



札幌市
危機管理対策室
フォロー



跡見学園女子大学
ATOMI UNIVERSITY

観光コミュニティ学部教授
鍵屋 一 氏

企業として、ビルとして、
災害時に何ができるのかを
考える必要がある！
しかし、進め方がわからない。

ビルを主体にした
地区防災計画を作ってみては！
ビル(テナント)の
魅力増進にもつながる！

ビルを主体とした
地区防災計画の構想が誕生

2. 地区防災計画に取り組んだきっかけ

課題としていた・・・

何とかしたいが、方法が見つからなかった！

毎年多数のテナントが参加する
自衛防災訓練



消防訓練を毎年実施

火災想定訓練がメイン
参加型の訓練の為、危機感が薄い！

ストーリーがある訓練なのでマンネリ化！

一部の企業のみ独自で、BCP（事業継続計画）対策
をしている！

火災を発生を想定した訓練は毎年実施していたが、少しマンネリ化している。

3. ワークショップを重ね

会話がはずむ中！ 保育園の園長先生から！

もし災害が起きたら、園児たちへの対応と
その保護者たちへの対応に少し不安が・・・

災害が起きたら、限られた職員（先生
たち）では、園児の対応だけでも精
いっぱい、お手伝いしてくれる人がい
ると、とっても助かるのに・・・

それなら
各テナントから、手伝いやサポートが
出来る人をだしましょう！

【保育園対応チーム発足！】



4. 災害の実体験

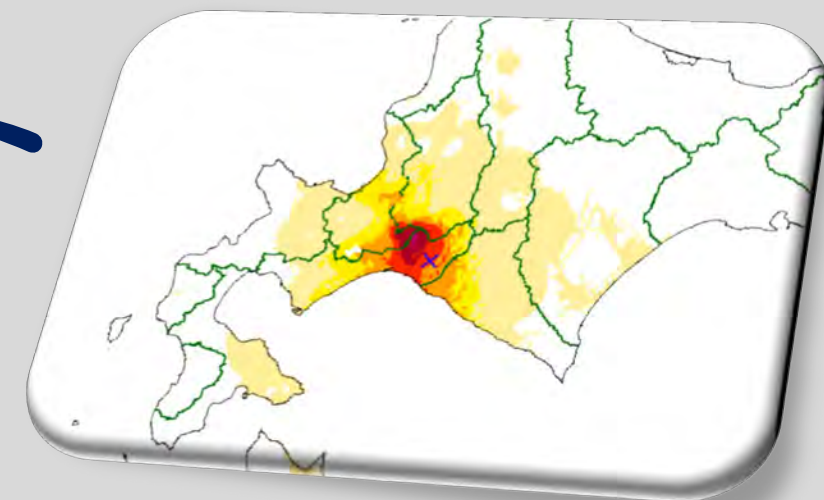
そんな取組の最中！

2018年 9月 6日（木）
3時 7分

北海道 胆振東部地震発生

地震の規模 M 6.7

長時間のブラックアウト
最大で43時間の停電



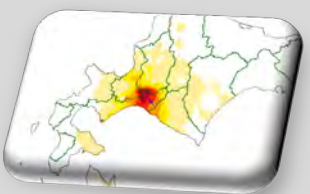
4. 災害の実体験



広範囲での発生した地すべり（厚真町）



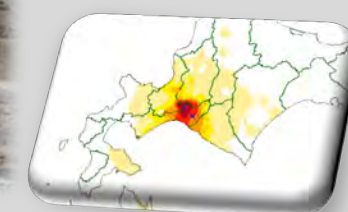
押し潰された家屋（厚真町）



4. 災害の実体験



住宅外で発生した、液状化現象（札幌市 清田区／北区）



4. 災害の実体験

普段のススキノ



停電発生時のススキノ
信号も消灯！



携帯電話の充電に並ぶ人達！
(札幌市役所ロビー)



長期停電
最大48時間

コンビニの食品棚は
空の状態に！



ガソリン給油待ち
の長い車列！



5. 計画の完成

このような災害の実体験もあり、
完成までの活動が、いっきに加速しました。

平成30年度 札幌市モデル地区となる
活動目標

『札幌時計台ビルは、
あかちゃんも安心できる！
助け合いのまちとなる！』

テナントさん同士がご近所さんのように、
お互いで協力し合い、助け合いが出来るビルになろう！

ビルが災害に強くなる事で、街も地域も強くなる！

5. 計画の完成

具体的な主な活動

- ① 災害発生時！テナントの従業員がビル内に
「3日間籠城」できるようにします。

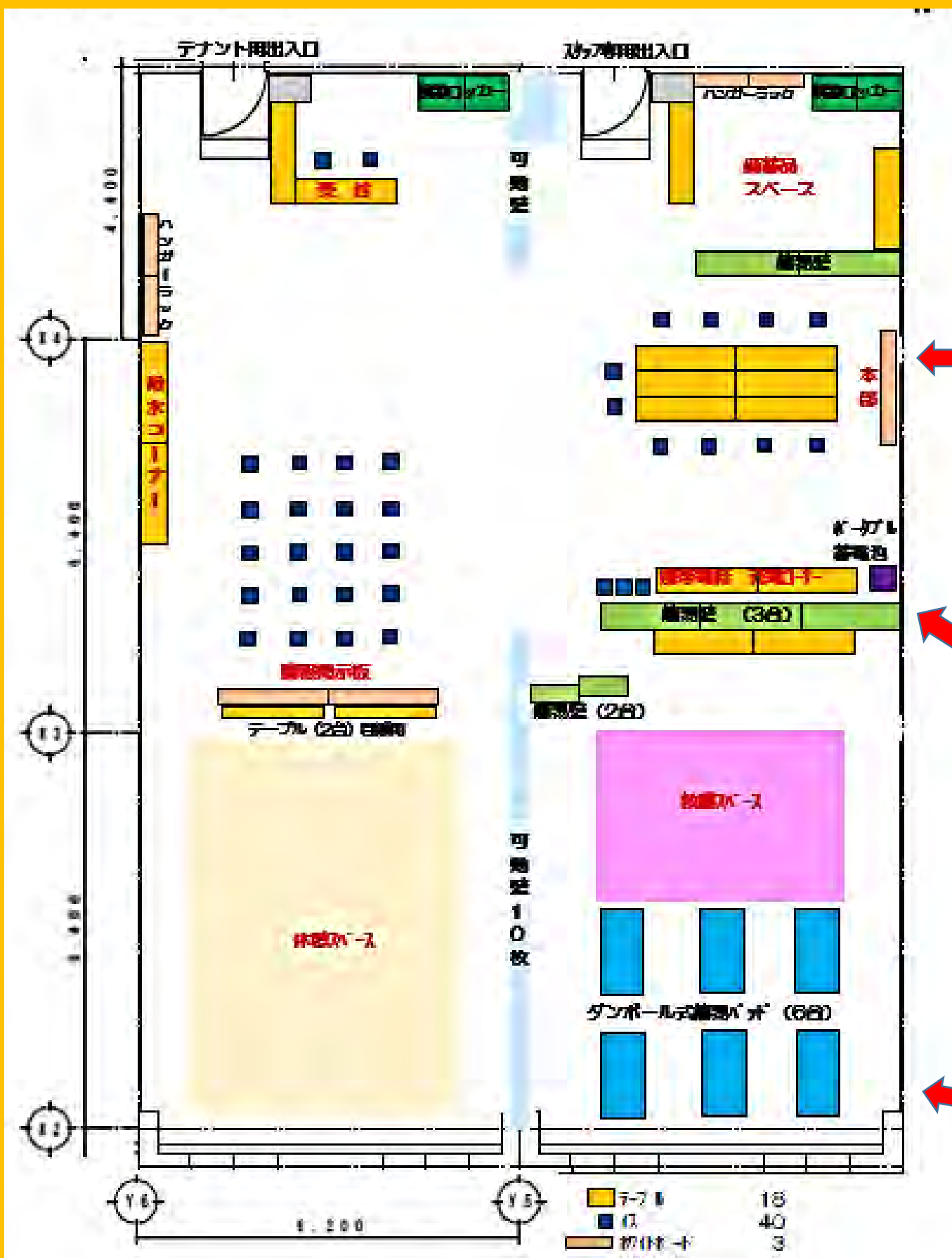
帰宅困難者への対応！
大会議室(220㎡)に「情報ステーションを開設」
充電スペース、休憩所、物資の支援。

情報提供し混乱を防止！

- ② 保育園児の安全確保の為、各テナントが集結し
「保育園対応チーム」を立ちあげ対応します。
園児たちを守る！

5. 計画の完成（抜粋）

情報ステーション



- 対策本部：災害掲示板へ情報を伝達
- 備蓄スペース：テナントで持ち寄った、支援物資を提供
- 充電スペース：大型バッテリーで携帯電話の充電サービスを提供
- 救護スペース：段ボール型簡易部ベッド（6台）救護スペース確保

災害時情報掲示板（例）

震源地：胆振日高東部 厚真町 震度7
 インフラ：札幌市内 全域停電 復旧目処 無し
 トイレ：使用不可（男子小便は可能）※2階以上に限る
 電源：携帯の充電可能（6階会議室）
 飲食物資：あり（6階会議室と1階エントランス）

◆ 大容量バッテリー！簡易発電機！



◆ 段ボール式簡易ベッド！



5. 計画の完成（抜粋）

■ 「保育園対応チーム」を作り保育園児を守る活動を行う。

園児を守るために、
さまざまな事をサポートします

- 保育士さんへのサポート！
- 保護者への対応サポート！
- 飲食物のサポート！
- 園児のトイレをサポート！



6. 取組の効果

自助力がUP！

「過去の災害を知る」

→ 忘れていた災害から学ぶ！

「自助・共助・公助」を知る」

→ ビルとして、テナントとして出来る事！

「予防知識を知る」

→ 付近の断層、ハザードマップを確認！

「近所付き合いの必要性を知る」

→ ビルでは、テナント間の付き合いを！

- テナントさんどうしが顔を知った結果。
エレベーター待ちで『おはようございます！』
貴社は『災害備蓄品は何があるの？』など
- テナントさんどうしが顔を知り！会話が増す！
助け合い力がUP！

”最初の頃は”

防災って！ビル側
がやることでしょ！
テナント側は指示
に従うよ！



6. 取組の効果

災害に備えテナントに大きな変化が！

アンケートの結果

◆ 災害時、共助(援助)は可能ですか？

当 初(2017年8月)	出来る 25社	出来ない38社
後 半(2018年11月)	出来る 54社	出来ない7社
計画完成(2020年10月)	出来る 59社	出来ない5社



自助力レベルUP

◆ 災害に備えて、食料・水等の防災用品を備蓄しているか？

当 初(2017年8月)	備蓄あり 26社	備蓄無し37社
後 半(2018年11月)	備蓄あり 37社	備蓄無し24社
計画完成(2020年10月)	備蓄あり 41社	備蓄無し22社

共助力レベルUP

◆ 備蓄品の内容

後 半(2018年11月)	食料や水 37社・防寒品保冷品 15社	簡易トイレ 0社
計画完成(2020年10月)	食料や水 41社 ・防寒品保冷品 25社	簡易トイレ 21社

停電した時には、水が使えない！トイレが使えない！実体験より

7. 作成の支援について

～ 地区防災計画の作成後まで ～

札幌市危機管理対策室の皆さま方から、地区防災計画モデル地区事業の計画作成の支援を約3年の間受けることが出来ました。支援してもらった事で各企業が刺激をもらえ活発な活動ができました。

作成の当初は、聞く防災であったが、計画作成後は自分で行う防災に変わっていったと感じています。

～ 専門的な知識と経験豊富な支援者による、講演 ～ (楽しいワークショップの進め方を学ぶ)

過去発生した災害を、動画や写真で見る事で自分たちが被災したらどうなるのかなど新ためて感じる体験が出来ました。

楽しみながら、意見を発言できる環境づくりの方法（ワールト`café方式）により、活発な意見交換ができました。

企業が出来る防災活動、自分が出る防災活動をWSを通じ各テナント自ら活動計画を作る事ができた。（停電時のトイレ問題が大きな成果）

7. 作成の支援について

都市部において、近隣の大型ビルでの防災活動をより活発にし、近隣ビル同士で共助し合うことで、都心部がより防災に強くなれると思います。

札幌市が防災に強い都市になれば、そこに『住む人』『働く人』『観光に訪れる人』も安心できる。【防災に強い札幌！】【防災に強い北海道！】いう事を目指していければと思います。

当ビルの地区防災活動が、他の地域での活動のきっかけになればと思います。

今回、支援を頂いた、皆さま方には大変感謝いたします。
今後も、地区防災計画の見直しを定期的に図り、防災に強い街（ビル）作りを目指して行きます。

最後に！

働く人の為に！ その家族の為に！

昼間の防災はビルと企業が、夜間の防災は地域・家庭が！
家族の命を両方で繋げる！！

平日昼間は！

ビルや
企業が



両方の車輪で
防災力を強化

休日夜間は！

地域や
家庭が

両輪で支えあう！

ご清聴ありがとうございました。